

医学部第2学年 別表(1)

	コース名 (コース責任者)	ブロック (ブロック責任者)	配点	ユニット (ユニット責任者)		コマ数等	時間数	
				血液の生化学 脂質の生化学 細胞内情報伝達 タンパク質特論	生化学 生化学 生化学 生化学			
前期	基礎医科学 I 生理学 (生体調節機能学部門)	A 生化学	100	血液の生化学 脂質の生化学 細胞内情報伝達 タンパク質特論	生化学 生化学 生化学 生化学	3 5 3 3	28	
		B 解剖学(顕微解剖学部門)	100	組織の構造と個体発生	解剖学(顕微解剖学部門)	15	30	
		C 解剖学(肉眼解剖学部門)	300	運動器系の解剖 神経系の解剖	解剖学(肉眼解剖学部門) 解剖学(肉眼解剖学部門)	12 12	78	
		D 生理学(生体制御学部門)	300	循環器系・呼吸器・泌尿器の解剖 神経・筋の生理 中枢神経の生理	解剖学(肉眼解剖学部門) 生理学(生体制御学部門) 生理学(生体制御学部門)	15 12 19	62	
		E 生理学 (生体調節機能学部門)	200	血液・造血の生理 呼吸の生理 体温の生理 循環の生理	生理学(生体調節機能学部門) 生理学(生体調節機能学部門) 生理学(生体調節機能学部門) 生理学(生体調節機能学部門)	5 8 2 7	44	
		F 微生物学	200	免疫の働きを担う器官、細胞と分子 免疫の生理学的と病理学的役割	微生物学 微生物学	12 9	42	
	医学総論 I 生理学(生体制御学部門)	合否	合否	English for Global Communication (B) 日本語対話法 生命(いのち)の講座 病院体験実習	生化学 英語 生理学(生体制御学部門) 生理学(生体制御学部門) 解剖学(肉眼解剖学部門)	※ 8 ○ 8 ○ 8 ○ 7 ※ 23	16 16 16 14 46	
	前期合計	6ブロック	1200			219	438	
	後期	基礎医科学 II 生理学 (生体制御学部門)	G 薬理学(医科薬理学部門)	200	生体と薬物 自律神経・神経筋接合部の薬理	薬理学(臨床薬理学部門) 薬理学(医科薬理学部門)	15 11	52
			H 解剖学(顕微解剖学部門)	100	ヒトの時間生物学	解剖学(顕微解剖学部門)	10	20
I 生理学(生体制御学部門)			100	感覚の生理	生理学(生体制御学部門)	14	28	
J 生理学 (生体調節機能学部門)			300	内分泌の生理 消化器の生理 生殖器の生理 代謝の生理 腎・尿路の生理 病態生理	生理学(生体調節機能学部門) 生理学(生体調節機能学部門) 生理学(生体調節機能学部門) 生理学(生体調節機能学部門) 生理学(生体調節機能学部門) 生理学(生体調節機能学部門)	7 5 3 3 6 8	64	
K 微生物学			200	細菌と真菌	微生物学	22	44	
L 微生物学			200	寄生虫 ウイルス	微生物学 微生物学	6 13	38	
M* 解剖学(顕微解剖学部門)			200	消化器・生殖器の解剖 リンパ・内分泌・感覚・外皮の解剖	解剖学(顕微解剖学部門) 解剖学(顕微解剖学部門)	11 12	46	
			合否	合否	肉眼解剖学実習 組織学実習	解剖学(肉眼解剖学部門) 解剖学(顕微解剖学部門)	※ 80 ※ 52	160 104
後期合計		7ブロック	1300	*ブロックMのコマ数・時間数の合計は前期合計に計算		255	510	
前後期合計		13ブロック	2500			474	948	
	必修ユニット数		31ユニット					
	実習ユニット数		4ユニット		※印は実習			
	演習ユニット数		3ユニット		○印は演習			
	合計ユニット数		38ユニット					

*ブロックMは組織学実習と関連があることから、前期に授業を行い、後期定期試験で評価する。

項目	不合格ブロック・ ユニット数	合格基準点	判定
定期試験	0	—	進級※
	1~5	—	再試験受験資格あり
	6以上	合格基準点総和(1,500点)以上 合格基準点総和(1,500点)未満	//
再試験	0	□	留年
	1以上		進級※ 留年
演習・実習	0		進級※
	1以上		留年

※進級には演習及び実習を含む全てのユニットの合格が必要